漁業士育成事業

與那嶺　盛　次

1. 目　的

近年、漁業技術の高度化や養殖・栽培漁業技術の普及、さらには資源管理に基づいた計画的な営業方法の導入等、より多くの高度な知識や技術の修得が求められるとともに、地域の共同化意識等若い後継者の一層の資質向上が急がれている。

そのため、この事業はこれらの資質を有し研究グループ等のリーダーとして、地域漁業振興の中核的漁業者となりうる青年を「青年漁業士」として、また、現に自ら優れた漁業経営を行ない漁村青少年の育成に指導的役割を果している中核的漁業者を「指導漁業士」として県知事が認定し併せてこれらの地域漁業の担い手に対し指導援助する活動等を行う。

2. 青年漁業士研修講座の開設

青年漁業士は青年漁業士養成のための講習を受けなければならない。青年漁業士講座は漁業・養殖全般にわたる基礎的な技術・知識を付与するための「一般コース」、部門別に高度な専門的技術・知識を付与するための「専門コース」及び部門別に経営管理と集団指導に関する技術・知識を付与するための「経営管理コース」をそれぞれ研修する。本年度は次の日程で講座を開設した。

平成2年度青年漁業士研修講座

時　期	時　間	講　座　名	講　師　名	所　属　役　員
平成2年9月26日	10〜12	水産業協同組合論	北　村　盛　武	県漁政課課長補佐
	13〜15	水産流通論	金　城　興太郎	オキコフーズ㈱社長
	15〜17	水産増養殖概論	友　利　昭之助	県水産試験場次長

時　期	時　間	講　座　名	講　師　名	所　属　役　員
平成2年9月27日	10〜12	航海計器	堤　　知　良	古野電気沖縄出張所所長
	13〜15	漁業資源論	伊　佐　次　郎	県水産試験場場長
	15〜17	漁業経営概論	与那覇　昌　喜	県近海鮪漁協専務理事

時　期	時　間	講　座　名	講　師　名	所　属　役　員
平成2年9月28日	10〜12	水産制度概論	下　地　敏　彦	県漁政課課長補佐
	13〜15	指導方法	上　原　佑　強	県指導漁業士
	15〜17	集団討議	瀬　底　正　武	水産業専門技術員

3. 認　定

青年漁業士（前述した講座を終了した者）及び指導漁業士等の認定にあたっては、県知事が認定証を交付する。

本年度の漁業士認定式は平成３年１月17日に那覇市内の水産会館で開催され、12名の新漁業士（名誉指導漁業士１名、指導漁業士５名、青年漁業士６名）に農林水産部平田毅次長より認定証が授与された。これで、県内の漁業士は31名（名誉指導漁業士２名、指導漁業士11名、青年漁業士18名）となった。

平成２年度認定漁業士

漁業士区分	氏　名	漁協名	漁業種類
名誉指導漁業士	吉山盛喜	恩納村漁協	ヒトエグサ養殖
指導漁業士	浜川幸治	伊良部町漁協	パヤオ漁業
〃	与那嶺　強	沖縄市漁協	パヤオ漁業
〃	儀保正司	平良市漁協	クビレヅタ養殖
〃	勝連忠治	池間漁協	深海一本釣
〃	上原克己	伊是名漁協	モズク養殖
青年漁業士	當真正守	恩納村漁協	モズク養殖　延縄
〃	仲門徳和	与那城村漁協	パヤオ漁業
〃	島袋博幸	宜野座村漁協	定置網漁業
〃	喜納正廣	伊是名漁協	追込網漁業
〃	国頭和廣	伊良部町漁協	パヤオ漁業
〃	新垣哲二	港川漁協	パヤオ漁業　一本釣

認定された漁業士の皆さん

（上左から）島袋、新垣、国頭、喜納、當真、仲門青年漁業士

（下左から）与那嶺、儀保指導漁業士、吉山名誉指導漁業士、上原、勝連指導漁業士

実績発表大会で紹介された新漁業士の皆さん